

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（企画担当）	・販売プロモーションやフェアなどでの客の反応は良く、購買につながるケースが増加している。以前のような買い控えはない。
		百貨店（企画担当）	・冬物の動きが鈍いことで、冬物セールの対象商品は潤沢となる。1月から2月にかけてのセールでの売上が好調であれば、小売業全体の体力回復にもつながる。
		百貨店（外商担当）	・暖かい気候が季節商品に与える影響は懸念されるが、客の購買意欲は強いいため、上昇が期待できる。
		スーパー（店長）	・年末の購入計画について客の会話を聞いていると、消費の増加が推測できる。
		乗用車販売店（経営者）	・期待している新型車が投入されるため、市場が活気づく。良いものは景気に左右されずに売れると確信しており、新年も3日から営業する。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の年齢層が幅広くなってきている。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・受注が多くなっており、受注につながる引き合いも増加している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・海外旅行の振り替えの影響から、法人、個人、団体ともに新年の予約は好調である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約件数は微増であるため、好調とまでは断言できない。
	美容室（経営者）	・客から景気の良い話を聞いているため、徐々に良くなっていく。	
	変わらない	商店街（代表者）	・地上デジタル放送開始などの好材料はあるが、売場の活気は乏しい。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・24時間営業の大規模店舗の出店が続けば、中小店舗はつぶれてしまう。名古屋への大規模店の出店ラッシュの影響で、週末は地方の客も大規模店に取られるため、先行きは暗い。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・変化がない状況が続いている。変わったことをすれば変化が見られるのかも知れないが、そのような勇気もない。
		百貨店（売場主任）	・寒さが厳しくなれば冬物商品も動き、良くなっていく。
		百貨店（売場主任）	・お歳暮は来店でもインターネットでも購入できるようになっているが、全体の販売量に変化はない。
		百貨店（経理担当）	・お歳暮商戦があまり盛り上がっていない。
		スーパー（経営者）	・消費量に比べて店舗数が多いため、競争は激化する一方である。客の買い方もより厳しくなっている。
		スーパー（店長）	・余計な物は購入しない行動が定着しており、その影響で客単価が低い状態が続いている。
		スーパー（店長）	・低単価志向は、回復する兆しが見られない。
スーパー（店員）		・年末、正月商戦の売上増加を見込んでいるが、それ以後は変化はない。	
スーパー（店員）	・商品価格は変動しているのに、客単価には変化がなく低いままである。買上点数も減少している。		
スーパー（経営企画担当）	・来客数の増加はかなりの店舗で見られるが、季節商品の動きが今一つ活発でない。		
スーパー（総務担当）	・チラシを入れた日を除き、全体的には来客数は減少傾向である。		
スーパー（仕入担当）	・米価の値上げに伴ってもちなどの商品は若干値上げで、その他も年末商戦は前年並みを見込んでいる。来客数がそれほど減少しなければ売上は前年を上回ることも期待できる。景気は底を打った感があり、これ以上は悪くならない。		
コンビニ（エリア担当）	・様々な販売対策、設備投資により売上を死守している。しかし年末に向けて競合店の出店が厳しく、各拠点のマーケットは縮小している。		
コンビニ（エリア担当）	・競合激化による売上の前年割れ状況は今後も続く。		
コンビニ（エリア担当）	・以前ほどの閉塞感はないが、他店との競合の厳しさは増していく。		
コンビニ（売場担当）	・単価は依然低下傾向で推移していくため、景気の上昇はまだ先である。		
衣料品専門店（企画担当）	・購買意欲をけん引するトレンドが見当たらない。		

	家電量販店（店員）	・地上デジタル放送が開始され、映像機器関連の販売需要が出てくる。	
	家電量販店（店員）	・売上は堅調に推移しつつあり、急激に良くなることはないが、悪くなることもない。	
	乗用車販売店（経営者）	・一部の商品に動きが出ているが、全体量は増加していないので、楽観的な見方はできない。	
	乗用車販売店（従業員）	・決算に向けて大きなキャンペーンを打つ予定のため、従来通りの来客数を確保できる。	
	自動車備品販売店（経営者）	・客の価値観に対応した品ぞろえとセールスを行い、サービスを改善していかないと、業界全体が売上を大きく落とす状況が続いている。	
	住関連専門店（営業担当）	・厳しい受注競争が今後も継続する。	
	その他小売〔総合衣料〕（店員）	・日頃の様子から、消費者の購買意欲が高まることは考えられない。	
	高級レストラン（スタッフ）	・忘年会予約は前年比で増えているが、依然として底ばい状態である。	
	スナック（経営者）	・忘年会の予約は現在1～2件で、これ以上は期待できない。客へ贈るお歳暮の数は昨年の半分となっている。	
	旅行代理店（経営者）	・前年比で増収増益を見込んでいる。製造業、建設業からの受注次第では、さらに良くなる。	
	旅行代理店（経営者）	・大企業の景気が良くなることで、旅行需要は増加することが予測できるが、現状ではなかなか来客数には結び付いていない。	
	旅行代理店（経営者）	・当地域は愛知万博、中部国際空港などの土木工事に加え、大手自動車メーカーなどの優良企業を抱えており、活気がある一方で、バブルの後遺症を抱える企業も多い。	
	旅行代理店（従業員）	・好調な個人客に加え、団体旅行も徐々に回復している。しかし、トルコでのテロの影響でキャンセルも始めている。	
	タクシー運転手	・無駄なものに消費する余裕はないよう見受けられる。	
	通信会社（営業担当）	・次世代携帯電話の展開が本格化するため現在の契約者の契約変更はあるものの、マーケット全体を押し上げるほどの期待はできない。	
	ゴルフ場（経営者）	・愛知県内の来場者数は前年割れが続いており、当ゴルフ場も同様である。ゴルファー人口が減っているとのデータもあり、今後が心配である。	
	美容室（経営者）	・客の顔ぶれに変化はないが、来店サイクルが長くなっている。	
	美容室（経営者）	・来客数に変化はないが、来店サイクルが長くなっており厳しい状態である。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・値下げ競争に突入しているため、新商品導入による受注増の見通しがつかない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・スーパーとの競争で、同業者は減少していく一方である。	
	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・客の様子を見ていると、失業した場合の再就職や年金問題等の不安があり、買い控えや単価の低下を引き起こしている。	
	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ボーナス時期となるが、客の様子を見ていると、貯蓄や借金の返済に使うことはあっても、新たな消費に回ることはない。	
	コンビニ（エリア担当）	・競合店が増加する予定があり厳しくなる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・12月後半の予約が少ないため、クリスマスのイベントもあまり期待できない。	
	旅行代理店（従業員）	・暖冬と言われているため、スキー客の減少による販売量の減少が懸念される。	
	タクシー運転手	・企業のタクシーチケットの限度額が抑えられているためか、電車のある時間に帰宅する人が多い。	
	ゴルフ場（企画担当）	・これから寒くなるため来場数は減少していくが、天候要因を除いても、売上は年々厳しい状況になっている。	
	設計事務所（経営者）	・実設計につながる案件が少ない。	
	住宅販売会社（経営者）	・客の収入が増えておらず、住宅の購入に結びつかない。	
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・販売量は増加しているが、1件あたりの規模が小さく、稼働率の割には売上は非常に少ない。そのため、人件費の負担が大きい状態が続いている。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・同業者で廃業が相次いでおり、決して明るい状況ではない。

		コンビニ（経営者）	・ 厳しい現状に加えて、酒類免許の規制緩和が始まり、今後にまったく希望が持てない。
		コンビニ（店長）	・ スーパーやドラッグストアと競合するアルコールや雑貨は、売上が軒並み減少している。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・ 今年に入ってから、毎月減少をたどっている。
		乗用車販売店（従業員）	・ 客は、ボーナス減額に加え、社会保険料も引かれるため、新しい物を購入する意欲がなくなっている。
		スナック（経営者）	・ 新年会の予約は年々少なくなっている。アルバイト従業員が辞めてしまったが、現状では補充もできない。
		住宅販売会社（従業員）	・ 住宅ローン減税の優遇措置がなくなったことに加え、金利上昇も影響しており、アパート経営を目的にした物件は減少する。
		住宅販売会社（業務担当）	・ 住宅の駆け込み需要が終わり、着工数の落ち込みが予想される。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（工務担当）	・ 維持していた高生産水準が、さらに高めに推移する。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（販売担当）	・ 日本車の販売が好調な米国市場は、現在は長期休暇シーズンで動きが悪いが、来年に入れば動き出して、設備投資意欲が高まる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ 年度末に向かって受注案件の消化が進む。来年度の受注も見込まれている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ 受注計画が上方修正の傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・ 国内設備投資は持ち直し傾向にある。
		建設業（総務担当）	・ それぞれの会社が自分の会社の内容を把握し、改善してきている。
		広告代理店（制作担当）	・ 企業側から広告掲載の見積の問い合わせが増加しており、春先からの受注に期待が持てる。
	変わらない	鉄鋼業（経営者）	・ 受注が決まっている客は一部であり、見通しは不透明である。
		金属製品製造業（従業員）	・ 設備投資の動きが鈍く、引き合いも少ない。現在の生産量の水準を維持できるかどうか懸念される。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 原油価格の高止まりが懸念される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 家電、工作機械などの新製品の開発の話もなく、既存の製品の増産も見込めないまま、ほぼ横ばいで推移していく。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・ 従来に比べ季節による変動が徐々に少なくなっている。受注先の業績にも変化がない。
		輸送業（エリア担当）	・ アメリカの景気が上向き傾向にあるが、テロの動向次第では外国貨物に影響が出てくる。
		輸送業（エリア担当）	・ 初夏からの天候不順が継続し、例年のような寒さがなく、暖房用品が全く動かない。
金融業（企画担当）		・ 現在の企業は保険に対するコスト削減意欲が非常に強い。本来の目的であるリスクヘッジに企業の意識が戻ってこない。景気は低迷している。	
公認会計士		・ 先行きへの期待感はあるものの、一部の大企業を除いては、財務内容の根本的な解決はできていない。	
やや悪くなる	その他非製造業 [デザイン]（経営者）	・ 取引先から、この先の計画が聞こえてこない。	
	非鉄金属製品製造業 [鋳物]（経営企画担当）	・ 単価は引き続き低下傾向であり、受注量も前年同月比で減少してきている。	
	電気機械器具製造業（従業員）	・ 取引先も先行き不透明で、悪くなるという話も多い。また、発注は必要量しかしないため、短納期になりがちである。	
悪くなる	経営コンサルタント	・ 不動産への需要はまだ増加してこない。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 窯業業界の3か月～5か月先の景気動向の先行指数となる新住宅着工件数が7.6%低下している。	
雇用関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・ アルバイトやパートの求人は以前からかなり伸びているが、正社員の求人も増え始めている。現在の好調な業績から、上向きの中長期的計画を立てている企業は多い。
		職業安定所（所長）	・ 自動車関連企業の求人が依然として好調に推移しており、万博関連の求人も増加しつつある。万博終了まではこの状態が継続する。
		学校 [大学]（就職担当）	・ 新事業、新店舗の増加などの理由で、流通、メーカー関連からの追加求人の要望が目立っている。

やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・求人依頼の前倒し傾向があり、企業からの引き合いも多い。
	人材派遣会社（社員）	・自動車関連企業からの受注は順調に増加しており、派遣スタッフの確保が課題となっている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・今年後半から求人件数が増え始めており、今月の求人件数は年内で最高となっている。今年の上期と比較すると、下期は約2割増加のペースである。求人は営業職等が多く、異業種からの転職も歓迎という企業も多い。この傾向は今後も続いていく。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・2005年の新卒者を対象とした求人が始まっているが、ここ数か月の求人件数は増加傾向である。
	職業安定所（職員）	・企業の倒産などに伴う離職者数は前年同月比で大幅に減少している。製造業やサービス業を中心に、派遣、請負など雇用環境は変化しているものの、求人数は緩やかに増加傾向にあり、改善の方向へ向かっている。 ・しかし、中小企業は体力が弱体化している事業所もあり楽観はできない。
	職業安定所（職員）	・これまで採用を抑制していた企業でも仕事量が増加しており、早急に人手が欲しいという要望が増えている。
	職業安定所（職員）	・就職件数が増加しており、ボーナス平均額も上昇している。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣社員の新規登録が思うように集まらず、スタッフ不足は著しい。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・製造業の求人数増加は好調な輸出に支えられている。そのため、最近の円高と米国向け輸出の動向が懸念される。
	求人情報誌製作会社（企画担当）	・目立った好材料はないが、各業種ともに求人数が上昇しており、急激な下降もない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・流通関係では厳しい状況が続いている。年末の繁忙期でもスポット雇用で対応しており、正社員雇用を実施する企業は少ない。一方で、製造業、特に輸送機械関連、IT、電気関連では明るさが見え始め、雇用は前年同時期の水準に戻りつつある。
	職業安定所（職員）	・求人数は横ばいであるが、求職者が減少しているため有効求人倍率は増加している。しかし、大手企業では事業の縮小、中小企業では解雇、倒産が引き続き行われている。
	職業安定所（管理部門担当）	・年齢不問求人は9.01%と低調であり、中高年齢者の就職率は5.20%に留まっている。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-